

### 「法政地理」の復刊にあたって

三井, 嘉都夫 / MITSUI, Kazuo

---

(出版者 / Publisher)

法政大学地理学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

JOURNAL of THE GEOGRAPHICAL SOCIETY OF HOSEI UNIVERSITY / 法政地理

(巻 / Volume)

13

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

1

(発行年 / Year)

1985-03-30

## 「法政地理」の復刊にあたって

三井嘉都夫

法政大学地理学科は1937年に誕生したが当時は高等師範部歴史地理学科の一部であった。その発足当時に「法政大学高等師範部歴史地理学会報」と言うものが発刊された。これはかなり充実したものであったが筆者の知る限りでは創刊号で終わった。以後定期刊行物的なものではなく、1945年敗戦を迎えた。戦後の混乱の中にも、初期の創設者達の盡力により1947年には旧制文学部に地理学科が誕生した。時の地理学科主任教授は田中館秀三教授であった。学生達は先生の学問的熱意に感動し、先生の住居には、しばしば押しかけ歓談したものである。かくする中で学会設立の声が高まり、「法政地理」発刊の機運に向った。多くの同志が幾度か会合し、幾多の難関を乗り越えてようやく1950年3月に会が成立し、その年6月「法政地理」第1号（ガリ版刷）が刊行された。時の会長、田中館秀三教授は巻頭言に次のように書かれている。

此の会は生れ出づべくして生れ、然もその生命は永久的であり、会員の努力の続かん限り進展する。此処に本会の誕生を会員と共に喜び、且創設委員の労を謝するとあり、なお続く言葉に、此の会は学会である限り眞摯なる研究は会の本旨であることを忘れてはならぬ。如何なる問題の研究にあってもその中に精神のこもったものは真理を必ず見出さう。それ故会員は科学的良心をもって真理への追求をおろそかにしてはならないと。

敗戦後の廃虚の中で食うに米無く、着るに着物無く、住うに家無き状況下ではあったが良き師、良き友は力を合わせて紆余曲折はあったにせよ「法政地理」も12号（1971年3月）までは刊行された。しかし、1970年前後を中心として峰起した全国的学園紛争の嵐は法政大学においても強いことはあっても弱いことはなかった。こうした嵐の中で、奇しくも難問の中には停滞の憂き目に遭遇せざるをえなかった。雌伏13年、卒業生も数多く出るようになり、中には法政大学に残って教授、助教授、講師、助手として活躍する者も数多く出てきた現在故田中館元会長の言われたように「生れ出づべくして生れ」の精神を継承して若手の卒業生達が努力に努力を重ねた結果「法政地理」13号の刊行となった。詢に慶ばしい限りである。1937年地理学科の母体を創設された第一人者の野口保市郎先生を初め、綿貫勇彦、多田文男、渡辺光先生らは今は亡く、戦後の旧制学部、新制大学ならびに大学院設立に貢献され法政地理学会とも関係深かった田中館秀三先生もすでに亡く、近年では学会にも最も力を入れて下さった大貫俊先生までが3年前に忽焉としてこの世を去ってしまった。そして法政の地理学科に常に助言を惜しまないで下さる岡山俊雄先生、保柳睦美先生らは健在とはいえ講義からは離れてしまった。寂寥の感に耐えないが「法政地理」の再興を諸先生方は地下で地上で慶んで下さるでしょう。後を担う者共に頑張ろう。